

ブラジル金融政策（2021年9月）

前回に続いて1.00%ポイントの大幅利上げ

2021年9月24日

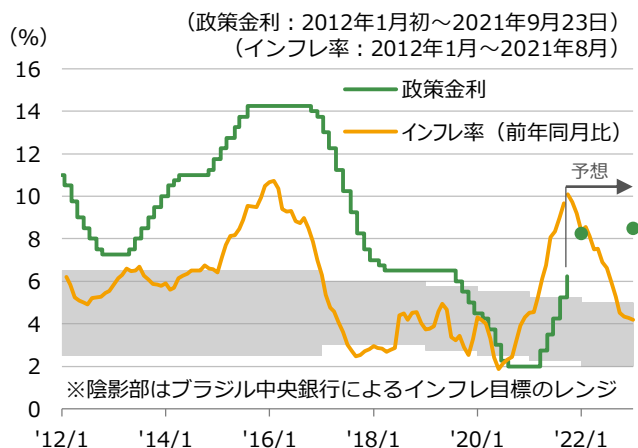
次回以降も1.00%ポイントずつの利上げが続く見込み

ブラジル中央銀行は9月22日（現地）、市場予想通り政策金利を5.25%から6.25%に引き上げると発表しました。足元でインフレ懸念が一段と高まっていたこともあり、一部ではより大幅な利上げを予想する向きもありましたが、結局は前回会合で示唆した通り1.00%ポイントの利上げ幅になりました。

同行は今年3月より利上げを開始し、政策金利は史上最低であった2.00%からわずか半年（5会合）で中立金利の水準（6～6.5%）まで引き上げられました。しかし、インフレ率は同行の目標レンジを大きく上回って推移しており、インフレ目標への回帰を確かなものにするために、今後も利上げが続けられる見込みです。声明文では、次回10月の会合でも同じ幅（1.00%ポイント）の利上げを決定することが示唆されています。また、直近では今年末の政策金利の市場予想が8.25%となっている通り、その次の12月の会合でも1.00%ポイントの利上げが見込まれている状況です。

こうした利上げ期待はブラジル・レアルの下支え要因になっています。今月は、ボルソナロ大統領と最高裁の対立といった政治リスクや中国恒大集団の債務問題による世界的な市場センチメントの悪化などにより、レアル売り圧力が強まる場面もありましたが、対米ドルでは依然として昨年春以降のレンジ内で推移しています。来年10月に大統領選を控える中で、今後も折に触れて政治リスクが意識されることは想定されますが、高金利政策がレアルの下支え要因として作用することが期待されます。

政策金利とインフレ率



※予想はブラジル中央銀行によるエコノミスト調査に基づく

※政策金利の予想は2021年末と2022年末

※インフレ率の予想は2021年9月～2022年12月

(出所) ブラジル中央銀行、ブルームバーグ

ブラジル・レアルの対円・対米ドルレート



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。